

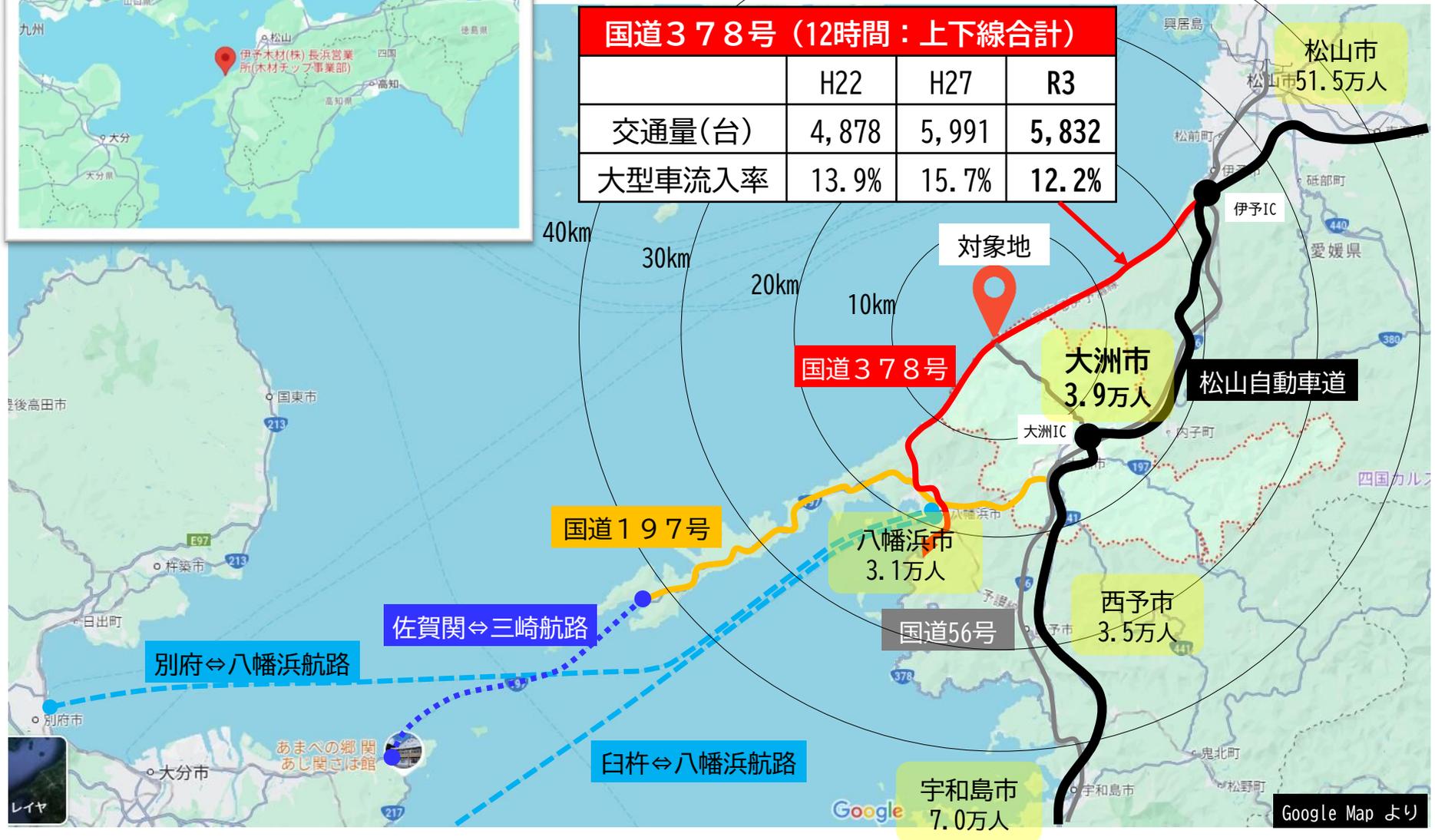
An aerial photograph of a coastal town and harbor. The town is built on a hillside overlooking a large harbor. The harbor is filled with numerous boats and has several piers. In the foreground, there is a construction site with a large area of white sand or earth, a blue excavator, and a row of white concrete blocks along the edge of the harbor. The water is a deep blue-green color.

長浜港内港埋立事業

対象地位置図



国道378号 (12時間：上下線合計)			
	H22	H27	R3
交通量(台)	4,878	5,991	5,832
大型車流入率	13.9%	15.7%	12.2%



対象地周辺図



離島「青島」



定期旅客船「あおしま」





締切線

埋立造成の概要

第一次・第二次臨海工業開発事業（昭和45年～平成元年）

大都市圏や拠点開発地区への若年労働力の流出による過疎化現象に歯止めをかけ、人口定住と地域開発を促進するため、旧長浜町において臨海部の工業開発を実施。（晴海工業団地・拓海工業団地）

長浜町第三次開発事業基本計画（昭和62年3月）

第一次・第二次開発事業に続く事業として昭和62年3月に策定され、旧長浜町議会において、計画の推進について議員提案され特別決議がなされた。

計画策定後、社会情勢の変化等により事業未着手のまま15年以上が経過したことから、平成15年に、市町村合併を見据えた長浜町のまちづくり方針とするための改定が行われた。

小型船だまりの整備（昭和58年～令和6年） 愛媛県施工

愛媛県は、第一次・第二次臨海工業開発、また、第三次開発事業基本計画との整合を図りながら、小型船だまり等の港湾整備事業を実施。

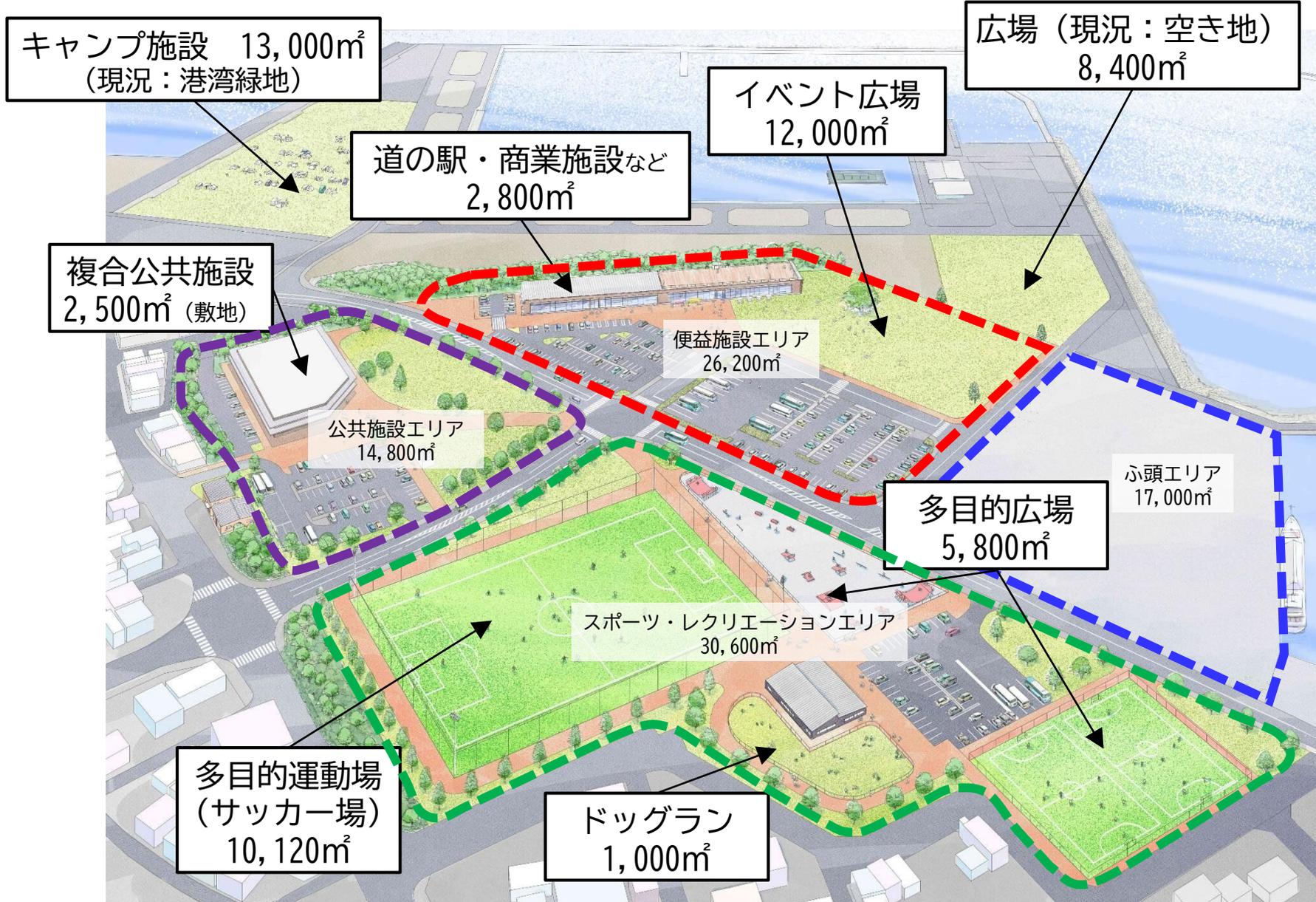
県の小型船だまりの整備が令和5年度に完了したことから、現在、市が漁業施設の整備や内港から小型船だまりへの移転を進めている。

長浜港内港埋立事業基本計画（令和6年6月）

第三次開発事業基本計画を改定した平成15年以降、人口や経済状況が大きく変化しているため、土地の利活用方針を始め計画内容の見直しを行い、令和4年3月に「長浜港周辺利活用基本構想」を策定。

地元住民等を含む検討会を設置して基本構想に対する意見を聴きながら基本計画（案）を作成し、パブリックコメントを経て「長浜港内港埋立事業基本計画」を策定。

計画の概要（土地利用計画・施設配置計画）



複合公共施設

※記載している導入機能や施設は基本計画段階のものであり、今後変更になる可能性がある。



計画延床面積 5,000㎡、RC造2階建て

区分	構成
行政機能	・市役所 長浜支所
保健・福祉機能	・長浜保健センター ・地域包括支援センター
社会教育機能	・図書館 長浜分館 ・長浜コミュニティセンター
団体事務所等	・社会福祉協議会 長浜支所等
防災機能	・多目的ホール、屋上、備蓄倉庫



<参考>

肱川地区複合公共施設

- ・構造 RC造3階建
- ・建築面積 683㎡
- ・延床面積 1,686㎡
- ・地域人口 約1,750人

区分	概算面積	機能・内容
情報提供施設	160㎡	<ul style="list-style-type: none"> 市内の観光地に誘導するための情報提供 自転車等の貸出し
管理施設	480㎡	<ul style="list-style-type: none"> 管理事務所、倉庫、従業員駐車場など
物販飲食施設	1,060㎡	<ul style="list-style-type: none"> 海産物などの地場産品を使用した飲食施設 直売所で購入した新鮮な海の幸や山の幸をその場で調理して食べられる浜焼き施設 近海の海産物、周辺地域で収穫された農産物、林産物等を販売する直売所
水槽展示施設	400㎡	<ul style="list-style-type: none"> 長高水族館部の研究機能を備えた水生生物の展示水槽やタッチプール
肱川あらし展示施設	400㎡	<ul style="list-style-type: none"> 肱川あらしの概要や発生状況・発生予測などに関する情報提供や映像体験
商業施設	200㎡	<ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストア程度の商業施設
駐車場	8,800㎡	<ul style="list-style-type: none"> 小型 250台 大型 26台 身障者用 5台 駐輪場 4台



スポーツ・レクリエーション施設

※記載している導入機能や施設は基本計画段階のものであり、今後変更になる可能性がある。



区分	概算面積	機能・内容
多目的運動場 (サッカー場)	10,120㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・ FIFA推奨規格 縦105m×横68m 1面 ・ 人口芝 ・ 夜間照明有り
多目的広場	5,800㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケートボードやBMXなどのアーバンスポーツ空間 ・ フットサルやヨガなど多様な使用が可能な広場
管理事務所	500㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理機能 (利用管理、維持管理・運営) ・ 利活用支援機能 (情報提供、救護) ・ 交流促進機能 (たまり空間、セミナー等の活動) ・ ユーティリティ機能 (トイレ、シャワー、更衣室等)
ドッグラン	1,000㎡	
キャンプ場 (港湾緑地)	13,000㎡	



施設の整備・運営手法（想定）

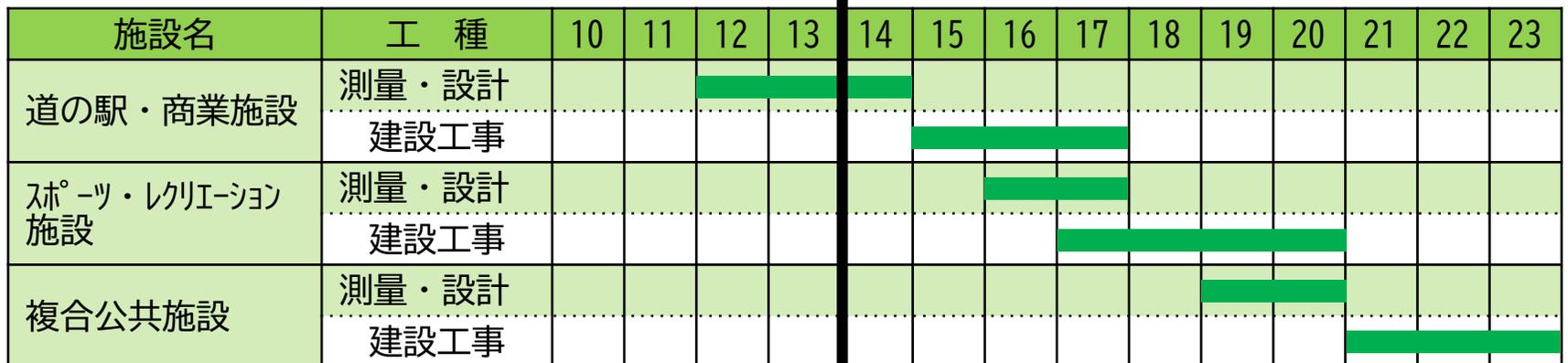
エリア	事業主体	手法
心頭エリア	愛媛県	従来どおり
公共施設エリア	大洲市	PPP/PFI手法
便益施設エリア	大洲市	PPP/PFI手法
スポーツ・レクリエーション施設エリア	大洲市	PPP/PFI手法
キャンプ場（港湾緑地）	大洲市	PPP/PFI手法
緑地帯	愛媛県・大洲市	従来どおり
道路	愛媛県	従来どおり

整備スケジュール

※スケジュールは、今後の調査・設計、埋立申請等の進捗状況に応じて、変更する可能性がある。



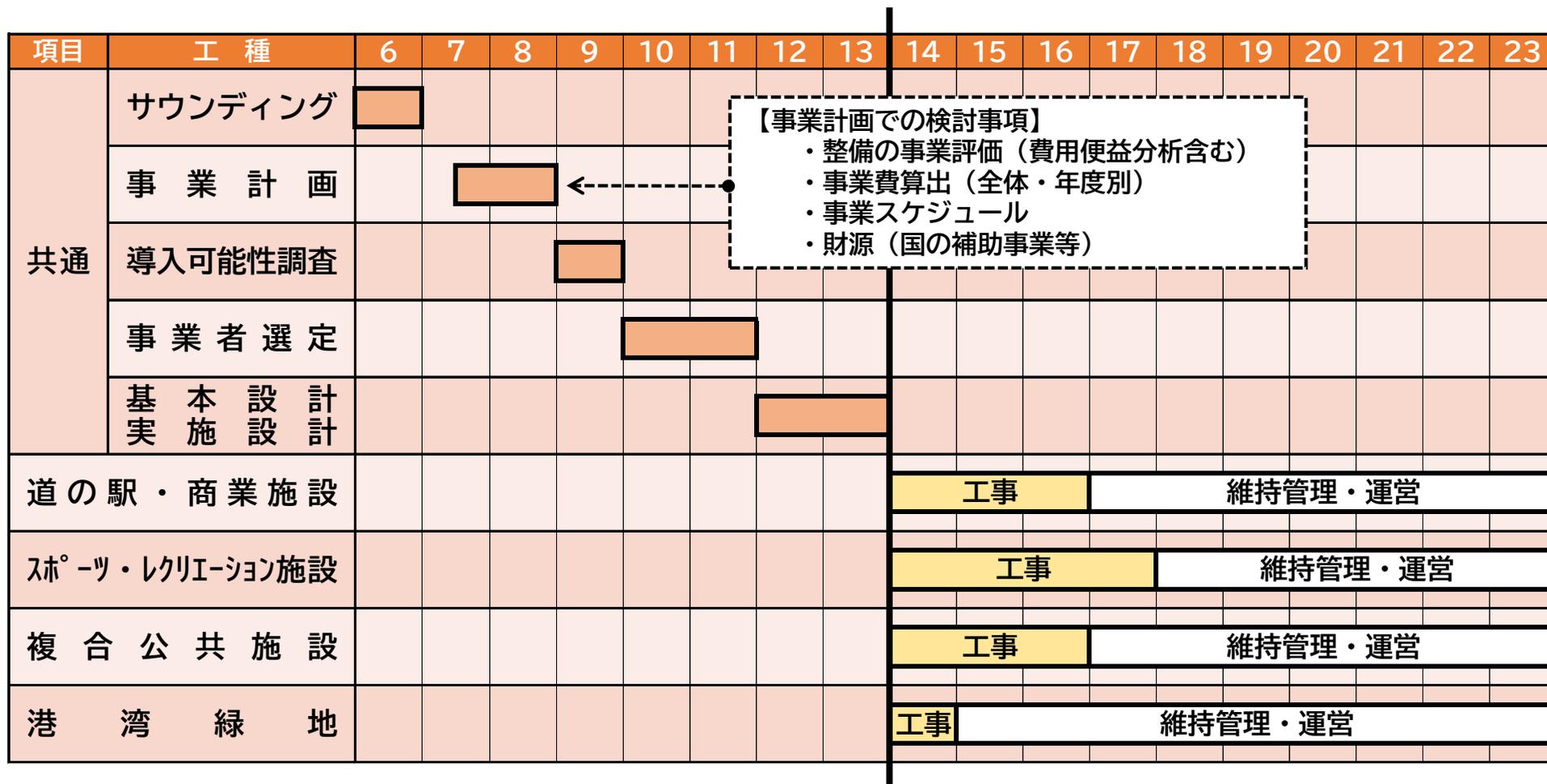
↓可能な限り工期の短縮を図りたい



整備スケジュール (官民連携手法の導入検討)

■官民連携手法 (施設の設計→建設→維持管理・運営を一括してPFI手法で実施するケースを想定)

- 【期待すること】
- 利用者目線で、相乗効果のある施設
 - より維持管理・運営のしやすい施設
 - 地元企業や地域住民が参画しやすい施設整備、維持管理・運営
 - 工期短縮
 - 事業費縮減



概算事業費

※事業費は基本計画策定時点で大洲市が算定したものであり、今後の関係機関との調整や積算の精査などにより変動する可能性がある。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



■埋立造成

項目		事業費	県	市	内容
支出	調査設計費等	9.2億円	4.6億円	4.6億円	調査設計、用地補償
	工事費	20.4億円	12.5億円	8.0億円	埋立工、緩衝緑地、給排水工、港湾・道路事業
	計	29.5億円	17.0億円	12.5億円	…①
収入	建設残土受入	8.4億円	—	8.4億円	
	起債	2.6億円	—	1.8億円	過疎債 2.6億円のうち交付税措置 1.8億円
	計	11.0億円	—	10.2億円	…②
市の実質負担額				2.3億円	①－②

■施設整備

項目		事業費	県	市	内容
支出	調査設計費	5.2億円	—	5.2億円	
	工事費	58.0億円	—	58.0億円	
	計	63.2億円	—	63.2億円	…③
収入	補助金	25.7億円	—	25.7億円	社会資本整備総合交付金
	起債	27.7億円	—	19.4億円	過疎債 27.7億円のうち交付税措置 19.4億円
	計	53.4億円	—	45.1億円	…④
市の実質負担額				18.1億円	③－④